

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

# けんちく茨城

No. **79** June, 2012

第55回建築士会全国大会

「いばらき大会」のご案内

震災を乗り越え、五浦の海に蘇った

**天心の六角堂**

「六角堂再建支援プロジェクト」活動の記録。

県営繕課長にきく

【報告】

平成24年度通常総会

【建築作品紹介】

つくば市子育て総合支援センター



社団法人  
茨城県建築士会

目次

	平成24年度通常総会開催される	1
[報告]	平成23年度収支計算書	2
	平成24年度収支予算書	4
	平成24・25年度新役員一覧 / 平成24年度事業計画	6
[お知らせ]	<b>第55回 建築士会全国大会「いばらき大会」のご案内</b>	7
[特集]	震災を乗り越え、五浦の海に蘇った <b>天心の六角堂</b>	10
	茨城県建築士会「五浦六角堂再建支援プロジェクト」活動の記録。	
[特集]	県営繕課長にきく 県営繕業務の概要について 茨城県土木部営繕課長 山田 茂 氏 インタビュー	14
[建築作品介绍]	つくば市子育て総合支援センター	16
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 篠崎 真一氏、石塚 文彦氏 インタビュー	18
[会員委員会報告]	第15回会員美術展	19
[女性部報告]	女性部会20年の歩み 「女性部会20周年記念式典に参加して」	20
	トータルライフ・コーディネーター 落合 なお子先生 講演 女性部会20周年記念事業「暮らしのセンスアップ」	21
	平成23年度 全国女性建築士連絡協議会 京都大会 報告	22

会報 **けんちく茨城**

題字 橋本 昌 茨城県知事

2012年6月 第79号

表紙写真 つくば市子育て総合支援センター

設計・監理 (株)岡野建築設計事務所

所在地 茨城県つくば市金田字蛭子

建築面積 637.12㎡

延床面積 617.60㎡

構造 鉄骨造

階数 地上1階

発行 平成24年6月11日 (年3回発行)

次回発行 平成24年10月5日予定

発行部数 2,700部

発行所 社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F

TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330

Eメール kyy05413@nifty.com

編集 情報・広報委員会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷所 株式会社あけぼの印刷社

# 社団法人 茨城県建築士会 平成24年度 通常総会



平成24年度通常総会(第61回)が、5月15日(火)水戸プラザホテルにおいて開催された。

関根副会長の開会の言葉に続き、柴会長が挨拶。昨年3月に発生した大震災での応急危険度判定、住宅相談、その後の市町村での罹災証明活動等、多くの建築士の協力をいただいたこと、その後の被災者の住宅再建支援のための「安心・安全な木造住宅プロジェクト」、「五浦六角堂再建支援プロジェクト」、「木造住宅耐震補強改修工法マニュアル」の作成、「木造建築構造技術者育成事業」等、震災後の復興支援事業を主として活動を行ってきたが、今後も支援活動を継続していきたいこと、また、会の活動においては、昨年は本会創立60周年記念事業を行い、さらに今年10月には会報誌等で周知の通り、全国大会が茨城において開催されるので、会員の皆さんの協力を得て成功させたいこと、また、今後も会の根幹となる委員会活動、各種研修会の開催、会員の増強などを充実させていきたいことなど、今年度の抱負を述べた。

来賓祝辞では橋本昌知事、磯崎久喜雄県議会議長、田所嘉徳県議会議員よりそれぞれ祝辞をいただいた。

続いて議事に入り、平成23年度事業報告と収支決算、平成24年度事業計画案と収支予算案、役員

の改選など6議案を審議、原案通り全会一致で可決、承認され議事は終了した。功労者表彰では、県央支部磯山治氏ら18名に表彰状が贈られたほか、会員増加優良者表彰として日立支部に感謝状が贈呈された。なお、当日は308名の出席と542名の委任状があり定足数に達していることを報告いたします。総会終了後はホテル内宴会場において懇親会が開催された。

## ●来賓の方々

茨城県知事	橋本 昌 様
茨城県議会議長	磯崎 久喜雄 様
茨城県議会議員(本会顧問)	田所 嘉徳 様
茨城県土木部都市局長	立 蔵 義明 様
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	大津 博之 様
茨城県土木部都市局住宅課長	江原 秀明 様
茨城県土木部営繕課長	山田 茂 様
㈱茨城県建築士事務所協会 会長	横須賀 満夫 様
茨城県木材協同組合連合会 会長	打越 芳男 様
㈱日本建築学会関東支部茨城支所長	増澤 敬 様
㈱日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会 会長	天 茂彦 様
茨城県設備設計協会 会長	菊地 繁 様
㈱茨城県建築センター長	内藤 初男 様
本会相談役	村田 省吾 様
本会相談役	滑川 浩一 様
本会相談役	田中 實 様

# 平成23年度収支計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

## I 事業活動収支の部

### 1. 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
入会金収入	入会金収入		250,000	207,500	42,500
会費収入	会費収入		34,236,000	33,337,300	898,700
		正会員会費収入	29,880,000	29,213,000	667,000
		準会員会費収入	756,000	721,800	34,200
		賛助会員会費収入	3,600,000	3,402,500	197,500
事業収入			58,770,000	161,788,668	△103,018,668
	講習会収入		7,160,000	10,816,263	△3,656,263
		法定定期講習会収入	3,600,000	6,923,283	△3,323,283
		総合研修会収入	2,400,000	2,746,000	△346,000
		研修講習会収入	1,160,000	1,146,980	13,020
	図書等頒布収入		7,000,000	4,910,711	2,089,289
		出版図書収入	3,150,000	1,357,800	1,792,200
		用紙等頒布収入	30,000	6,940	23,060
		幹旋図書収入	3,500,000	3,321,371	178,629
		表示板頒布収入	320,000	224,600	95,400
	事業受託収入		35,150,000	138,145,594	△102,995,594
		試験受託収入	5,850,000	5,741,350	108,650
		調査受託収入	2,950,000	6,026,000	△3,076,000
		判定士認定業務受託収入	2,850,000	2,673,000	177,000
		事務受託収入	1,500,000	1,745,570	△245,570
		震災関連業務受託収入	11,500,000	98,244,674	△86,744,674
		耐震診断派遣業務受託収入	10,500,000	23,715,000	△13,215,000
	手数料収入	二級・木造建築士事務手数料収入	3,729,000	3,280,100	448,900
	委員会部会等事業収入		5,731,000	4,636,000	1,095,000
		事業収入	5,731,000	4,636,000	1,095,000
補助金等収入	事業助成金収入	連合会助成金収入	300,000	200,000	100,000
雑収入			16,903,000	16,876,230	26,770
	受取利息収入		15,000	10,146	4,854
	雑収入		16,888,000	16,866,084	21,916
		資料発送支部負担金収入	2,448,000	2,175,300	272,700
		広告協賛金収入	13,870,000	13,930,000	△60,000
		雑収入	570,000	760,784	△190,784
事業活動収入計			110,459,000	212,409,698	△101,950,698

### 2. 事業活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
事業費支出			62,141,200	141,473,916	△79,332,716
	講習会費支出		4,840,000	3,617,260	1,222,740
		法定定期講習会費支出	2,150,000	1,397,524	752,476
		総合研修会費支出	1,900,000	2,134,514	△234,514
		研修講習会費支出	790,000	85,222	704,778
	全国大会費支出		1,850,000	1,839,953	10,047
	けんちく茨城印刷費支出		1,850,000	1,481,950	368,050
	情報通信普及推進費支出		280,000	115,973	164,027
	CPD制度推進費支出		342,000	121,550	220,450
	委託事業費支出		27,470,000	114,297,706	△86,827,706
		建築パトロール委託費支出	2,500,000	5,195,725	△2,695,725
		応急危険度判定士認定業務費支出	1,500,000	1,461,073	38,927
		試験業務実施費支出	1,500,000	1,555,791	△55,791
		事務受託支出	620,000	1,073,362	△453,362
		震災関連業務費支出	12,050,000	83,202,199	△71,152,199
		耐震診断派遣業務委託費支出	9,300,000	21,809,556	△12,509,556
	普及宣伝費支出		1,175,000	948,661	226,339
		対社会の事業費支出	500,000	709,639	△209,639
		会員増強促進費支出	375,000	34,022	340,978
		広報費支出	300,000	205,000	95,000
	研修費支出		8,733,700	7,757,488	976,212
		研修費支出	800,000	669,399	130,601
		親睦事業費支出	7,933,700	7,088,089	845,611
	委員会費支出		2,111,000	1,810,000	301,000
	青年部会活動費支出		2,761,000	1,507,103	1,253,897
	女性部会活動費支出		1,247,000	1,193,877	53,123
	賛助会活動費支出		430,000	201,535	228,465
	助成金支出		700,000	0	700,000

まちづくり活動費支出		1,651,500	1,199,258	452,242
出版事業費支出		3,900,000	3,337,577	562,423
	図書製本費支出	1,600,000	639,283	960,762
	法令用紙作成費支出	50,000	0	50,000
	幹旋図書仕入費支出	2,150,000	2,622,739	△472,739
	表示板仕入費支出	100,000	75,600	24,400
地域貢献活動費支出	地域貢献活動費支出	2,800,000	2,044,025	755,975
管理費支出		52,250,436	48,329,348	3,921,088
	給料手当支出	20,128,936	19,420,003	708,933
		15,169,016	14,198,807	970,209
	給料支出	4,959,920	5,221,196	△261,276
	手当支出			
	中退金掛金支出	408,000	408,000	0
	福利厚生費支出	3,160,000	3,135,722	24,278
	会議費支出	2,394,600	1,815,421	579,179
		700,000	526,574	173,426
	総会費支出	1,019,600	883,052	136,548
	理事会費支出	675,000	405,795	269,205
	諸会議費支出			
	会計報酬支出	300,000	300,000	0
	租税公課費支出	1,500,000	1,064,600	435,400
	負担金支出	10,308,800	9,739,566	569,234
		8,908,800	8,310,240	598,560
	連合会費支出	1,100,000	1,084,126	15,874
	関プロ会費支出	300,000	345,200	△45,200
	団体会費支出			
	旅費交通費支出	550,000	354,540	195,460
	通信運搬費支出	4,200,000	3,653,706	546,294
	什器備品費支出	200,000	99,750	100,250
	消耗品費支出	1,100,000	988,834	111,166
	印刷製本費支出	650,000	566,988	83,012
	地代支出	378,000	378,000	0
	慶弔費支出	2,100,000	1,899,838	200,162
	家賃支出	1,052,100	1,052,100	0
	事務所共益費支出	800,000	783,900	16,100
	機械借損費支出	2,220,000	2,129,714	90,286
	雑支出	800,000	538,666	261,334
予備費支出	予備費支出	492,151	0	492,151
事業活動支出計		114,883,787	189,803,264	△74,919,477
事業活動収支差額		△4,424,787	22,606,434	△27,031,221

## II 投資活動収支の部

### 1. 投資活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
特定資産取崩収入	積立預金収入		6,430,000	7,443,483	△1,013,483
		60周年積立預金取崩収入	4,930,000	5,941,783	△1,011,783
		災害積立金取崩収入	1,500,000	1,501,700	△1,700
貸付金回収収入	長期貸付金回収収入		5,000,000	5,000,000	0
投資活動収入計			11,430,000	12,443,483	△1,013,483

### 2. 投資活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
特定資産取得支出	積立預金取得支出		11,150,000	22,457,260	△11,307,260
		全国大会いばらき大会積立預金取得支出	7,000,000	7,000,000	0
		運営資金積立預金取得支出	2,950,000	11,745,176	△8,795,176
		70周年積立預金取得支出	500,000	1,511,964	△1,011,964
		関プロ茨城積立預金取得支出	200,000	200,120	△120
		災害積立預金取得支出	500,000	2,000,000	△1,500,000
投資活動支出計			11,150,000	22,457,260	△11,307,260
投資活動収支差額			280,000	△10,013,777	10,293,777

## III 財務活動収支の部

### 1. 財務活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
財務活動収入計			0	0	0

### 2. 財務活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異
財務活動支出計			0	0	0
財務活動収支差額			0	0	0
当期収支差額			△4,144,787	12,592,657	△16,737,444
前期繰越収支差額			4,144,787	4,144,787	0
次期繰越収支差額			0	16,737,444	△16,737,444

# 平成24年度収支予算書

【一般会計部門】

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

## I 事業活動収支の部

### 1. 事業活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成24年度予算額(A)	平成23年度予算額(B)	差額(A-B)
入会金収入	入会金収入		210,000	250,000	△40,000
会費収入	会費収入		33,618,000	34,236,000	△618,000
		正会員会費収入	29,280,000	29,880,000	△600,000
		準会員会費収入	648,000	756,000	△108,000
		賛助会員会費収入	3,690,000	3,600,000	90,000
事業収入			95,644,000	58,770,000	36,874,000
	講習会収入		5,636,000	7,160,000	△1,524,000
		法定定期講習会収入	2,016,000	3,600,000	△1,584,000
		総合研修会収入	2,460,000	2,400,000	60,000
		研修講習会収入	1,160,000	1,160,000	0
	図書等頒布収入		8,750,000	7,000,000	1,750,000
	全国大会収入		42,000,000	0	42,000,000
	事業受託収入		29,858,000	35,150,000	△5,292,000
		試験受託収入	5,740,000	5,850,000	△110,000
		調査受託収入	3,045,000	2,950,000	95,000
		判定士認定業務受託収入	2,673,000	2,850,000	△177,000
		事務受託収入	900,000	1,500,000	△600,000
		震災関連業務受託収入	3,500,000	11,500,000	△8,000,000
		耐震診断派遣業務受託収入	14,000,000	10,500,000	3,500,000
	手数料収入		3,120,000	3,729,000	△609,000
	委員会部会等事業収入	事業収入	6,280,000	5,731,000	549,000
補助金等収入	事業助成金収入		200,000	300,000	△100,000
		連合会助成金収入	200,000	300,000	△100,000
		歴史的風致維持向上事業補助金収入	0	0	0
雑収入			10,336,000	16,903,000	△6,567,000
	受取利息収入		10,000	15,000	△5,000
	雑収入		10,326,000	16,888,000	△6,562,000
		資料発送支部負担金収入	2,016,000	2,448,000	△432,000
		広告・協賛金収入	7,630,000	13,870,000	△6,240,000
		雑収入	680,000	570,000	110,000
事業活動収入計			140,008,000	110,459,000	29,549,000

### 2. 事業活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成24年度予算額(A)	平成23年度予算額(B)	差額(A-B)
事業費支出			99,814,000	61,191,200	38,622,800
	講習会費支出		3,550,000	4,840,000	△1,290,000
		法定定期講習会費支出	860,000	2,150,000	△1,290,000
		総合研修会費支出	1,900,000	1,900,000	0
		研修講習会費支出	790,000	790,000	0
	全国大会費支出		48,500,000	1,500,000	47,000,000
	けんちく茨城印刷費支出		2,612,000	1,850,000	762,000
	情報通信普及推進費支出		500,000	280,000	220,000
	CPD制度推進費支出		354,000	342,000	12,000
	委託事業費支出		22,510,000	27,420,000	△4,910,000
		建築パトロール委託費支出	2,650,000	2,500,000	150,000
		応急危険度判定士認定業務費支出	1,670,000	1,500,000	170,000
		震災関連業務費支出	3,150,000	12,000,000	△8,850,000
		耐震診断派遣業務委託費支出	1,280,000	9,300,000	3,500,000
		試験業務実施費支出	1,600,000	1,500,000	100,000
		事務受託支出	640,000	620,000	20,000
	普及宣伝費支出		1,525,000	1,175,000	350,000
		対社会的事業費支出	500,000	500,000	0
		会員増強促進費支出	725,000	375,000	350,000
		広報費支出	300,000	300,000	0
	研修費支出		6,166,000	8,733,700	△2,567,700
		研修費支出	1,635,000	800,000	835,000
		親睦事業費支出	4,531,000	7,933,700	△3,402,700
	委員会費支出		1,924,000	2,111,000	△187,000
	青年女性委員会活動費支出		3,251,000	4,008,000	△757,000
	賛助会活動費支出		450,000	430,000	20,000
	助成金支出		0	700,000	△700,000
	まちづくり活動費支出		622,000	1,651,500	△1,029,500
	会員名簿作成費支出		1,600,000	0	1,600,000
	出版事業費支出		4,000,000	3,900,000	100,000

歴史的風致維持向上推進調査費		0	0	0
地域貢献活動費支出		2,250,000	2,250,000	0
管理費支出		57,727,100	52,250,436	5,476,664
給料手当支出		19,125,000	20,128,936	△1,003,936
	給料支出	14,061,000	15,169,016	△1,108,016
	手当支出	5,064,000	4,959,920	104,080
中退金掛金支出		432,000	408,000	24,000
福利厚生費支出		6,680,000	3,160,000	3,520,000
会議費支出		4,953,000	2,394,600	2,558,400
	総会費支出	2,542,000	700,000	1,842,000
	理事会費支出	886,000	1,019,600	△133,600
	諸会議費支出	1,525,000	675,000	850,000
会計報酬支出		300,000	300,000	0
租税公課費支出		2,500,000	1,500,000	1,000,000
負担金支出		10,557,000	10,308,800	248,200
	連合会費支出	8,665,000	8,908,800	△243,800
	関プロ会費支出	1,092,000	1,100,000	△8,000
	団体会費支出	800,000	300,000	500,000
旅費交通費支出		350,000	550,000	△200,000
通信運搬費支出		3,700,000	4,200,000	△500,000
什器備品費支出		100,000	200,000	△100,000
消耗品費支出		1,000,000	1,100,000	△100,000
印刷製本費支出		1,200,000	650,000	550,000
地代支出		378,000	378,000	0
慶弔費支出		1,900,000	2,100,000	△200,000
家賃支出		1,052,100	1,052,100	0
事務所共益費支出		780,000	800,000	△20,000
機械借損費支出		2,020,000	2,220,000	△200,000
雑支出		700,000	800,000	△100,000
予備費支出		1,504,344	1,442,151	62,193
事業活動支出計		159,045,444	114,883,787	44,161,657
事業活動収支差額		△19,037,444	△4,424,787	△14,612,657

## II 投資活動収支の部

### 1. 投資活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成24年度予算額(A)	平成23年度予算額(B)	差額(A-B)
特定資産取得収入	積立預金取崩収入		6,500,000	11,430,000	△4,930,000
		運営資金積立預金取崩収入	0	0	0
		60周年積立預金取崩収入	0	4,930,000	△4,930,000
		関プロ茨城大会積立預金取崩収入	0	0	0
		災害積立預金取崩収入	0	1,500,000	△1,500,000
		全国大会いばらき積立預金取崩収入	6,500,000	0	6,500,000
	貸付金回収収入	長期貸付金収入	0	5,000,000	△5,000,000
投資活動収入計			6,500,000	11,430,000	△4,930,000

### 2. 投資活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成24年度予算額(A)	平成23年度予算額(B)	差額(A-B)
特定資産取得支出	積立預金取得支出		4,200,000	11,150,000	△6,950,000
		全国大会いばらき大会積立預金取得支出	0	7,000,000	△7,000,000
		運営資金積立預金取得支出	3,000,000	2,950,000	50,000
		70周年積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		災害積立預金取得支出	500,000	500,000	0
		関プロ茨城積立預金取得支出	200,000	200,000	0
投資活動支出計			4,200,000	11,150,000	△6,950,000
投資活動収支差額			2,300,000	280,000	2,020,000

## III 財務活動収支の部

### 1. 財務活動収入

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成24年度予算額(A)	平成23年度予算額(B)	差額(A-B)
財務活動収入計			0	0	0

### 2. 財務活動支出

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	平成23年度予算額(A)	平成22年度予算額(B)	差額(A-B)
財務活動支出計			0	0	0
財務活動収支差額			0	0	0
当期収支差額			△16,737,444	△4,144,787	△12,592,657
前期繰越収支差額			16,737,444	4,144,787	12,592,657
次期繰越収支差額			0	0	0

## 平成24・25年度新役員一覧

顧問	高橋 靖	水戸市長	三原 弘嗣	JR水戸設備部施設課
	白田 信夫	茨城県議会議員	笹本 健次	(株)イシヤ設計
	田所 嘉徳	茨城県議会議員	橋本 照雄	橋本建築設計事務所
相談役	田中 實	(有)田中設計事務所	久米 恒雄	久米建築設計事務所
	村田 省吾	(株)アソシエイツ	小林 澄夫	繁建築設計事務所
	滑川 浩一	(株)竹中工務店 茨城営業所	石川 節	石川設計(株)
会長	柴 和伸	(株)柴建築設計事務所	柴崎 清	(有)AOI建築設計事務所
副会長	関根 慎一	(株)関根工務店	増田 和夫	増田一級建築設計事務所
	松山 恒男	多賀土木(株)	馬場 明義	馬場建築設計事務所
	武村 実	武村建築設計事務所	小谷野 栄次	結設計事務所
専務理事	加藤 繁治	(社)茨城県建築士会	久保田 吉文	(有)クボタ建築設計事務所
常務理事	高槻 一雄	(有)高槻建築設計事務所	児玉 欽司	(株)環境工作室
	菊池 積	菊池設計工房	土井 金哉	山王建材(株)
	石坂 健一	(有)石坂工務店	潮田 充	(株)潮田建設
	岡田 一夫	岡田建築設計事務所	家富 秀一	家富テクニカルホーム
	市毛 純一	(株)市毛建築設計事務所	飯島 洋省	(株)飯島洋省 and HAND 建築設計事務所
	赤木 裕子	赤木裕子住宅設計室	阿久津 祐子	(有)AN計画工房
理事	茅根 信男	茅根建築設計事務所	監事 上遠野 正勝	東海村自治会連合会
	藤 馨	(有)藤建築事務所	遠藤 洋三	
	棚谷 哲夫	棚谷建築設計事務所	水口 二良	水口二良法律事務所
	川又 晴彦	川又晴彦建築設計事務所	内藤 初男	(株)茨城県建築センター
	大津 博之	県土木部都市局建築指導課		

## 平成24年度事業計画

### 指導育成

01. 会員の増強及び組織の強化
02. 安心安全な住宅プロジェクトの推進
03. 木造建築構造技術者育成
04. 建物調査業務委託
05. 建築士試験の実施受託
06. 一級建築士免許登録申請事務の実施
07. 二級・木造建築士登録事務の実施
08. 建築士法第22条2項による「定期講習」の実施受託
09. 建築士法第22条4項による「全ての建築士の総合研修会」の開催
10. 建築基準法改正に伴う講習会・研修会の実施
11. 建築バトロール調査の実施受託
12. 木造住宅耐震診断士派遣事業の受託
13. 応急危険度判定士の更新及び登録事務の実施受託
14. 建築エコ・プロジェクトの推進および緑化推進事業(苗木配布)の実施
15. 災害発生時支援活動の協力体制の充実と、災害積立金の実施
16. 全国被災建築物応急危険度判定協議会への協力
17. 「まちづくり」事業の推進および地域貢献事業の実施
18. 建築士の継続能力開発(CPD)制度の推進
19. 関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会(新潟大会)への参加促進

20. 建築士会全国大会(いばらき大会)の準備・実施
21. 建築士賠償・工事賠償責任補償制度への加入促進
22. 茨城県建築物安全安心実施計画への協力
23. 北関東ブロックにおける専攻建築士の登録および受付
24. インターネットのホームページによる情報・広報の提供

### 調査研究

01. 建築士会の組織の見直しに関すること
02. 建築士業務の適正運営の推進に関すること
03. 新規事業の企画・立案に関すること

### 情報の提供及び図書等の斡旋

01. 会報の発行・支部との各種情報の交換(会員への情報提供)
02. 建築確認申請・建築許可・都市計画法関係諸用紙の頒布
03. 建築士受験関係図書その他参考図書の斡旋

### 国家褒章等

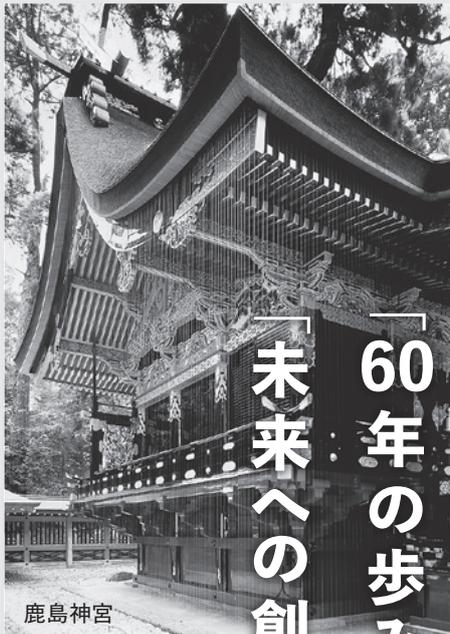
01. 国家褒章等の上申
02. 功労者表彰及び感謝状贈呈
03. 会員増加優良支部の表彰
04. 建築優良作品の表彰及び推薦

### その他

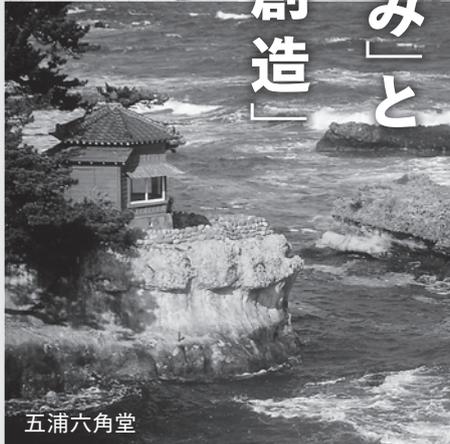
01. 行政機関及び関係諸団体との協力
02. 本会の目的を達成するため必要な事業

第55回建築士会全国大会  
「いばらき大会」のご案内

皆さまのご参加を  
お待ちしております!!



鹿島神宮



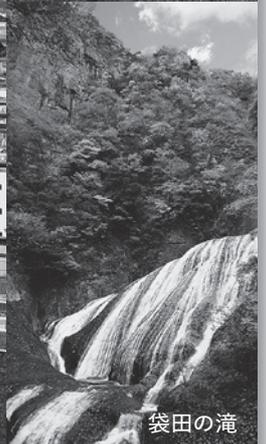
五浦六角堂



水戸芸術館 (写真提供: 水戸芸術館)



国営ひたち海浜公園



袋田の滝



JR日立駅



水戸・偕楽園

## 第55回 建築士会全国大会 「いばらき大会」

2012年10月19日(金) | 会場 茨城県立県民文化センター

〔主催〕公益社団法人日本建築士会連合会 | 〔共催〕関東甲信越建築士会ブロック会

〔主管〕社団法人茨城県建築士会 | 〔後援〕国土交通省、茨城県、水戸市、茨城新聞社、茨城放送、NHK水戸放送局、水戸コンベンションビューロー、社団法人茨城県建築士事務所協会、財団法人茨城県建築センター、社団法人日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会



第55回 建築士会全国大会「いばらき大会」実行委員会 TEL.029-305-0329 <http://homepage1.nifty.com/ishikai/>



# 大会概要

## 第55回建築士会全国大会「いばらき大会」

テーマ：ひたちのくに常陸国いばらきで語ろう「60年の歩み」と「未来への創造」

会場：茨城県立県民文化センター、水戸芸術館、水戸プラザホテル

期日：平成24年10月19日(金)

主催：公益社団法人日本建築士会連合会

共催：関東甲信越建築士会ブロック会

主管：社団法人茨城県建築士会

後援：国土交通省、茨城県、水戸市、茨城新聞社

茨城放送、NHK水戸放送局

水戸コンベンションビューロー

社団法人茨城県建築士事務所協会

財団法人茨城県建築センター

社団法人日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会



茨城県県民文化センター



水戸芸術館



水戸プラザホテル

### いばらき大会の主なスケジュール

#### 10月18日(木) 全国大会前日の催し

- 13:30～14:30 記者会見 (会場：水戸プラザホテル)
- 15:00～17:00 理事・士会長合同会議 (会場：水戸プラザホテル)
- 17:30～19:00 歓迎交流会 (会場：水戸プラザホテル)
- 13:30～16:30 第7回まちづくり賞発表会及び公開選考会 (会場：レイクビュー水戸)
- 17:00～19:00 全国まちづくり委員長会議 (会場：レイクビュー水戸)
- 17:00～19:30 全国建築士会フォーラム (会場：三の丸ホテル)

#### 10月19日(金) 全国大会 (県民文化センター・水戸芸術館)

- 8:30～15:00 総合受付 (会場：県民文化センター)
- 9:00～16:30 物産品販売・休憩・飲食コーナー (会場：県民文化センター)
- 10:00～15:00 交流セッション (会場：県民文化センター)  
 景観まちづくり支援タスクフォース/ヘリテージ保全活用支援タスクフォース/女性委員会/まちづくり委員会/青年委員会/リフォームタスクフォース/設計等業務調査検討部会
- 10:00～12:00 茨城会「五浦六角堂の再建」(会場：水戸芸術館)
- 13:00～14:30 記念講演会 in 水戸芸術館 徳川斉正氏
- 13:30～15:00 記念講演会 in 県民文化センター 妹島和世氏
- 15:00～15:30 オープニングアトラクション(会場：県民文化センター)
- 15:30～17:00 大会式典 (会場：県民文化センター)
- 17:30～19:30 屋台村 in アートタワー (会場：水戸芸術館)
- 交流会場へシャトルバスで移動
- 18:00～19:30 大交流会 (会場：水戸プラザホテル)

#### 10月20日(土)・21日(日) 地域交流見学会 (エクスカーション)

茨城県内、県内～栃木県、県内～千葉県  
 1日コース(7コース)、1泊2日コース(1コース)

※大会の追加・最新情報は、(社)茨城県建築士会のHPをご覧ください。

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>





# 大会スケジュール

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19 (時)
県民文化センター	大ホール棟								総合受付				
	小ホール棟 (小ホール)										大会式典		
	(県民ギャラリー)								記念講演会 妹島和世氏				
	(一般展示室)								交流セッション1/青年委員会				
	(展示室ロビー)								交流セッション4/ヘリテージ保全活用支援TF				
	分館 (集会室8号)										交流セッション2、6/女性委員会、リフォームTF		
	分館 (集会室9号)										交流セッション7/設計等業務調査検討部会		
分館 (集会室10号)										交流セッション3、5/まちづくり委員会、景観まちづくり支援TF			
屋外											物産品販売・飲食休憩		
水戸芸術館	ACM劇場								記念講演会 徳川斉正氏				
	会議室								茨城会「五浦六角堂の再建」				
	広場									屋台村 in アートタワー			
水戸プラザホテル											大交流会		

## 大会式典

日時：10月19日(金) 15:30～17:00  
会場：茨城県立県民文化センター (大ホール棟・小ホール棟)

## 大会記念講演会

■記念講演会 in 水戸芸術館  
日時：10月19日(金) 13:00～14:30  
会場：水戸芸術館 (ACM劇場)  
講師：水戸徳川家第15代当主 徳川斉正氏

■記念講演会 in 県民文化センター  
日時：10月19日(金) 13:30～15:00  
会場：茨城県立県民文化センター (小ホール棟)  
講師：建築家 妹島和世氏

## 交流セッション

日時：10月19日(金)  
会場：茨城県立県民文化センター

■交流セッション1/青年委員会担当  
テーマ：「あつまれ青年建築士！」～繋がる実践活動発表会～  
小ホール棟 県民ギャラリー 10:00～13:00

■交流セッション2/女性委員会担当  
テーマ：東日本大震災に思う、女性建築士の視線から  
分館 集会室8号 10:30～12:30

■交流セッション3/まちづくり委員会担当  
テーマ：大規模災害時の全国の建築士による被災地支援のあり方  
分館 集会室10号 10:00～12:00

■交流セッション4/ヘリテージ保全活用支援タスクフォース担当  
テーマ：ヘリテージマネージャー活動の課題と展望  
小ホール棟 一般展示室 12:30～15:00

■交流セッション5/景観まちづくり支援タスクフォース担当  
テーマ：景観まちづくり専門家の育成と活動  
分館 集会室10号 12:30～15:00

■交流セッション6/リフォームタスクフォース担当  
テーマ：リフォームと建築士  
分館 集会室8号 13:00～15:00

■交流セッション7/設計等業務調査検討部会担当  
テーマ：建築士の設計・工事監理等の業務  
分館 集会室9号 10:30～12:30

## 茨城会「五浦六角堂の再建」

日時：10月19日(金) 10:00～12:00  
会場：水戸芸術館 (会議室)

## 屋台村 in アートタワー

日時：10月19日(金) 17:30～19:30  
会場：水戸芸術館 (広場)

## 大交流会

日時：10月19日(金) 18:00～19:30  
会場：水戸プラザホテル

## 地域交流見学会 (エクスカーション)

日時：10月20日(土)～21日(日)

■Aコース 20日(土)  
県都・水戸の“歴史・文化”とその“現在進行形”に触れる小さな旅コース

■Bコース 20日(土)  
徳川光圀の隠居所と岡倉天心ゆかりの地を巡る文化施設コース

■Cコース 20日(土)  
“奥久慈清流ライン”(JR水郡線)で行く日本三名瀑「袋田の滝」コース

■Dコース 20日(土)  
秋色の絨毯が広がる国営公園でウォーキング&新鮮魚市場でショッピングコース

■Eコース 20日(土)  
つくばで“先端宇宙科学への誘い”と“江戸時代へのワープ”を同日体感コース

■Fコース 20日(土)  
常陸国(茨城)のパワースポット・鹿島神宮と北総(千葉)の小江戸・佐原散策コース

■Gコース 20日(土)～21日(日) 1泊2日  
真壁町(茨城)の新名所・伝承館と日光(栃木)の世界遺産を訪ねる2日間の旅コース

■Hコース 20日(土)  
大海原を眼前に望む名門「大洗ゴルフ倶楽部」で、贅沢ゴルフ三昧コース

# 震災を乗り越え、五浦の海に蘇った 天心の六角堂

茨城県建築士会「五浦六角堂再建支援プロジェクト」活動の記録。



再建された五浦六角堂。竣工式のあと、石灯籠も設置された（写真提供：茨城大学）

流失から約1年が経過した  
平成24年4月17日、  
再建された六角堂の竣工式が  
関係者を招いて執り行われました。  
この特集では、  
竣工式の模様をお伝えするとともに、  
本会も全面的な協力を果たした  
「天心の六角堂」の再建計画を  
あらためてふり返ります。

平成24年4月17日、再建された五浦六角堂の竣工式が、関係者約100人を招いて執り行われました。この模様は、新聞やテレビなど主要なメディアで全国的に大きく報じられ、あらためて六角堂に対する人々の関心の高さを伺わせました。

## 創建時の姿を丁寧に調査。

茨城県建築士会に、六角堂を管理する茨城大学から再建に向けての協力要請があったのは、約1年前、平成23年5月19日のこと。3月11日に発生した東北太平洋沖地震による津波で六角堂が流失してから、まだまもない時期でした。

明治38年に岡倉天心がつくった当時の六角堂を復元するため、茨城県建築士会会員が有する専門的技術や知識をぜひとも提供してほしい、との要請を受け、本会ではただちに六角堂再建支援プロジェクトを発足。創建時の六角堂については残された資料が極めて少ないことから、茨城大学や北茨城



① 除幕式の様子。旧天心邸庭園で神事が執り行われたあと、六角堂へとつづく小路の入り口に設けられた紅白の幕が関係者12人によって開かれ、再建された六角堂がお披露目された。② 神事の様子。厳かな雰囲気の中、六角堂の再建工事が無事に完了したことに感謝し、未来永久に堅固であり続けるよう祈りが捧げられた。③ 竣工式典において、池田茨城大学長より「感謝状」の贈呈を受ける本会柴会長

市の関係者らとともに、時代背景や地域の特性などをあらためて調査研究し、残された写真・文献や地元の大工・瓦職人などの証言を丁寧に検証しながら、度重なる議論を重ね、建築資材の種類・産地、各部材の製法や施工技術を確定し、創建時の六角堂の姿を鮮明にしていきました。そして、その姿を現代に忠実に再現するため、各部材の発注先についても調査を進めていきました。

平成23年11月末には、いよいよ工事が開始。それから約5ヵ月、流失から約13ヵ月が過ぎた平成24年4月17日、再建された六角堂が、ついに関係者にお披露目される日が訪れました。

## 本会の貢献に対して感謝状も。

竣工式当日は、海を望む旧岡倉天心邸の庭を会場に、厳かな雰囲気の中神事が執り行われました。その後、六角堂へと続く小道の入口に設えられた紅白の幕を、本会柴会長を含む関係者12人が左

右に開くと、眼下に陽光を受け銀色に輝く六角堂の宝珠がその凛々しい姿を現しました。

海から拾い上げた破片から復元した「宝珠」。いわき市小松金兵衛氏所有の山林から伐り出した天心と同じ齢の「杉材」、愛知・三州で焼き上げた8寸の「棧瓦」と「木羽葺き」によって葺かれた屋根、当時の製法にこだわりイギリスから取り寄せられた「ガラス」、そして、内部の中央に復元された「六角形の炉」。

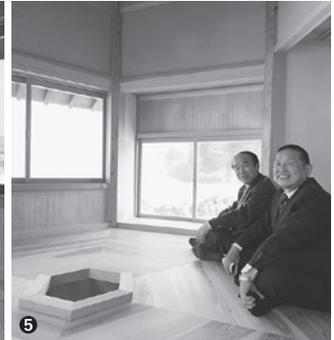
岡山から取り寄せた「天然ベンガラ」による彩色は、初回の塗りのため赤色はまだ若干薄かったものの、岡倉天心がかつて「観瀾亭(かんらんてい)」と名付けた創建時の六角堂が、この日、見事に五浦の海に蘇りました。その堂々とした佇まいに、約1年にわたり、労を惜しまず持てる知識のすべてを提供してきた本会再建支援プロジェクトのメンバーの顔にも、安堵と喜びの笑みが浮かびました。

集まった関係者に向けての六角堂のお披露目が済んだあと、五浦観光ホテル別館大観荘に会場を

## 再建された六角堂



① 除幕式のあと、集まった関係者に再建された六角堂がお披露目された。② 屋根のてっぺん、宝珠の下には、海底調査で奇跡的に発見された「六角柱の水晶」が納められた。③④ 今回、天井と呼応するような形の六角形の炉が、床の中央に復元された。また当時と同じ製法でつくられたガラスを通してみると、波が微妙にゆがんで見え妙味を感じさせる。⑤ 内部からの眺めに感激した面持ちの、市毛リーダーと菊池委員。\*今回は特別に許可をいただいて内部に入っの撮影を行いました。



移して竣工式典が開催されました。茨城大学の池田学長が挨拶をされたあと、再建に対して多大な貢献があったとして、関係団体のなかでも特別に本会に対して、感謝状が贈られました。

## プロジェクト活動を終えて。

再建にかかわったプロジェクトメンバーを代表して、次の5人に、活動を終えての感想を聞きました。

「近代日本美術の父、岡倉天心が創った六角堂の再建に関わらせていただき、再建委員共々光栄であったと思っている。天心は観瀾亭(六角堂)からの景色を眺め、『波の変化し続けることによって不変である宇宙の原理(道)]を冥想していたようだ。菊池均さんと中に入り座って大海を眺めた。凡人には高尚すぎると感じたが、素晴らしい眺望であった。長い時間居たい環境であることは間違いなかった」

(プロジェクトリーダー 市毛 純一)

「六角堂の床の間の前に座ることは恐れ多く、おそるおそる座ってみると、まさに天心大先生の思いが伝わる。設計の段階で疑問であった垂れ壁、当時どのように指示され工事が進んだのかが想像できた。明治時代の職人、材料と話をして茨城の大工集団が当時のように施工できたなら、もっと親しみのある天心六角堂になったと思われる。百年、二百年後の改修時のため原寸図、施工図をわかりやすくのこし、未来の大工たちにも簡単に施工できる資料を建築士会として残すべきではないか」

(大子の大工 菊池 均)

「今回のプロジェクトに参加して、あらためて岡倉天心の生き様を発見しました。六角堂という小さな建築物ですが、天心の精神が宿る建築に触れることが少しですが体験でき、ありがたく思っています。建築士会の一員として、再建の手助けが微力ながらできたことを誇らしく思います。竣工を見とどけ、この建築へのたくさんの人の思いが、後世へ受け継が

れてゆくことを希望します」(藤井 耕市)

「平成24年4月17日、`明治38年の六角堂、の建立を目指して始まった工事が竣工を迎えられたことは、図面を担当させていただいた私にとって、すべての方へ感謝!! の一言以外ありません。

現場では、新たにみつかった写真で庇の工法や外壁のササラコが明治と違っていたことがわかり、変更もありました。いろいろなことは、委員会の中で検討されていたことが礎です。雨仕舞・強度等に、平成技術を加えた`明治38年の観瀾亭、が、天心先生の精神と日本の伝統を伝えられることを願っています」(若柳 綾子)

「柴会長の命を受け、茨城大学に対し、六角堂再建について建築士会として全面的に協力したいと申し入れたのは昨年4月21日、大学から協力要請を受けたのが5月19日、急遽、本会に六角堂再建プロジェクトを立上げ、7月から11月上旬まで延べ6回にわたり、検討会を重ねてきました。池田茨城大学長の1年以内に復興したいという強い意向をプロジェクトメンバーの全員が受け止め、多忙にもかかわらず、毎回、貴重な写真や資料を持ち寄り、熱のこもった議論を交し、再建設計をまとめ上げました。竣工式で再建された六角堂を見たメンバー全員が感無量ではなかったかと思います。メンバーの皆さま大変ご苦労さまでした」(事務局長 加藤 繁治)

## 五浦六角堂現場見学会 平成24年4月7、8日 茨城県天心記念五浦美術館、六角堂工事現場、ガラス工房シリカ ほか

### 六角堂や天心についての知識を得る貴重な機会に。

報告：県央支部 佐藤 真

4月7日の五浦六角堂現場見学会に参加しました。天気も良く、絶好の見学会日和となりました。

バスで高速道路を移動し、まずは茨城県天心記念五浦美術館に到着。岡倉天心や五浦の作家たちの作品を紹介したり、日本美術の情報を発信するなどのために創設された県立美術館です。大スパンのPC造であるにも関わらず、コンクリートとは思えないとても繊細な架構で構成され、まるで柔らかな木の柱梁を思わせる建物です。

特別展で、岡倉天心が創設した日本美術院に参加した画家たちの展示がありました。近代日本画を代表する作家である横山大観の没線画法(朦朧体)と呼ばれる画法で描かれたものも多くあり、空気を表現する繊細な技法として優れていると感じられます。実際の大観の絵画を鑑賞する機会は初めてで、表現の素晴らしさに驚いたひと時でした。

次は六角堂へ移動。断崖に位置しておりまさに絶景。瞑想に耽るには格好のロケーションです。しかし風がとても強く、冬の海風ということもあり、寒く感じられました。それでも普段よりも穏やかだというお話で、工事されている方の苦勞が想像できます。

その後は徒歩で五浦観光ホテル別

館の大観荘へ移動し、昼食。お昼を食べながら、六角堂再建を担当された方々の話も聞くことができ、より理解が深まりました。

休憩時間の後、鮮魚店松野屋へ移動。海鮮などの買い物をしました。大きなさつま揚げが印象的なお店です。次は、ガラス工房シリカに移動。見晴らしがよい場所で、一風変わった色遣いのガラス工芸を製作しているところです。時間の都合で、製作はできませんでしたが、製作の風景やいろいろなガラス工芸品の展示を見ることができました。

その後は、高速に乗り水戸まで順調に戻りました。

この現場見学会までは、六角堂も岡倉天心も名前を知っている程度でしたが、調べる中で見聞が広まり理解が深まった気がします。行く機会を供していただいた方々に深く感謝いたします。



4月7日(土)



4月8日(日)

# 県営繕業務の概要について

—— 本年度の県の営繕業務の規模と内容について話を伺いました。

茨城県土木部営繕課長  
**山田 茂** 氏インタビュー



今年4月に営繕課長に就任された山田茂氏に、今後の営繕課の主な施策、課題等を伺いました。

## 基本方針

営繕課では、本県の施策目標である「生活大県」の実現に向けて、安全安心で快適性や潤いを備えた良質な施設の建設・設計に取り組んでいます。また、適正な価格・工期設定を前提に、案件特性を踏まえた様々な発注方式を活用することにより、建設・設計業界の発展に寄与したいと考えています。

## 平成24年度の業務概要

今年度の営繕業務は、震災からの復旧・復興工事並びに老朽校舎の建替等が集中することから、工事予定額においては前年度の約51億円(95件)から約107億円(140件)に大幅増となっています。

また、設計委託予定額は前年度に比べ微減の6.45億円となっていますが、より高い専門性が求められる耐震補強案件が、全体109件のうち58件を占めていることから、発注の平準化に留意しつつ、円滑な業務遂行に努めていきたいと考えていますので、貴会会員をはじめ設計者

の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

なお、今年度に発注する主な工事箇所としては石岡第一高校管理・普通教室棟改築、水戸第二高校普通・特別教室棟新築復旧、水戸農業高校管理教室棟新築復旧等であり、設計箇所としては取手第二高校管理普通教室棟改築、下館第二高校普通教室棟改築等を予定しています。

## 課題

上記「基本方針」を達成するためには、当課技術系職員の技量向上・維持が不可欠であり、日々の勉強を怠ることなく知識と経験を確実に積み上げていくこと、さらには対外的な説明力を身につけながら、プライドを持って仕事に対処すべきだと考えています。このため、特に若手職員の案件では、現場における様々な質疑回答を速やかにかつ適切に行うワンデーレスポンスの仕組みを用いて技量向上を図っていきます。

また、震災による被害状況の情報を共有化していくことも重要な課題と考えています。被害が生じてしまった原因が何であったのか、弱点がどこにあったのか、我々営繕課だけではなく設計者や施工者など関係者と情報共有を図り、さらにより良い施設整備に努めていきたいと考えています。

## 工事件数及び工事額の推移(直近5ヶ年)

年度	工事						設計	
	依頼件数(件)			工事額(百万円)			依頼件数(件)	委託額(百万円)
	一般	学校	小計	一般	学校	小計		
H20	75	60	135	2,803	3,129	5,932	107	618
H21	63	55	118	4,408	2,664	7,072	139	588
H22	93	75	168	5,891	2,089	7,980	176	606
H23	69	26	95	3,244	1,930	5,174	132	692
H23繰	15	42	57	1,620	1,904	3,524	6	87
H24	46	37	83	2,515	4,679	7,194	103	558
<b>H24執行計</b>	<b>61</b>	<b>79</b>	<b>140</b>	<b>4,135</b>	<b>6,583</b>	<b>10,718</b>	<b>109</b>	<b>645</b>

注)「学校」の欄は教育庁財務課所管分、「一般」はそれ以外  
注) 予算ベース ①債務について：件数は各執行年度に計上、工事額は年度所屬金を各執行年度に計上。②繰越について：次年度に計上

## 耐震診断及び耐震改修事業について

平成19年度から耐震改修促進計画に基づき、県有施設の耐震化を実施。耐震診断等の年度別実績と今後の実施計画については下表のとおり。なお、耐震診断については平成22年度完了。

年度	県計画(耐震診断)			
	営繕課執行分			
	耐震診断		補強設計	補強工事
H19~H21	164棟	152棟(6.3億)	49件(1.6億)	24棟(32件)(27.8億)
H22	146棟	127棟(2.2億)	20件(0.6億)	18棟(22件)(11.0億)
H23	—	—	38件(2.5億)	6棟(7件)(8.2億)
<b>H24</b>	—	—	<b>63件(2.8億)</b>	<b>37棟(42件)(29.3億)</b>
H25~H27	—	—	関係各課と連携し、計画的に実施	
合計	310棟	279棟	—	—

注) 県計画には企業局・警察本部を含む。



# つくば市子育て総合支援センター

さまざまな機能を明快なゾーニングで備えた光あふれる明るい空間。  
支援者の育成、支援サービスの連携までになる、市の子育て支援の中核施設。



外観東面

## 基本方針

近年、子供や子育てをする家庭を取り巻く環境は、多様化してきている。子育て世代は核家族化が進み子育てに対する負担感、不安を抱えている家庭が増えている。これらの家庭に対して、子育て支援の重要性、必要性は極めて高い。

つくば市子育て総合支援センターは、子育て家庭の視点に立ち、子育て支援、子供支援施策を充実させ、安心して産み、育てることができる街づくりを推進するために、子育て支援の中核となる拠点を創設するものである。また子育て支援者の育成、市全体の子育て支援サービスの連携を行い、支援の質の向上を目指す施設として計画された。

建設地は旧桜庁舎に隣接し、「中根金田土地区画整理事業」の地区内に位置する。周辺を運動

公園、水田等に囲まれた、自然豊かな場所である。一方でつくば駅からの巡回バスも整備されていることから、自然と融合しながら、利便性も確保されており、市民が利用しやすい充実した子育て支援環境の創設を図った。

## 設計主旨

当施設は乳幼児の利用が前提となることから、子供の安全性を第一に考えた。死角となる空間を可能な限り避け、徹底したバリアフリー化、転倒や衝突防止、車椅子等の利用を考慮した利用環境等、細やかな配慮をした。

建物の計画にあたり、色彩やサイン計画を含めシンプルで解りやすい空間構成を考え、親子の目線に立った安全で優しいデザインとした。

また、多様な利用形態に対応できる自由度の高い空間構成とした。

## 自然光あふれる明るい空間

内部空間は自然光を積極的に取り入れ、明るく開放的で、子供達のがのびのびと遊ぶことができる明るい空間を創設した。

また、ハイサイドライトやトップライトを設けて人工照明の点灯抑制を図り、太陽光発電や蓄熱型の床暖房の採用等、人と環境に優しい建築となる計画とした。

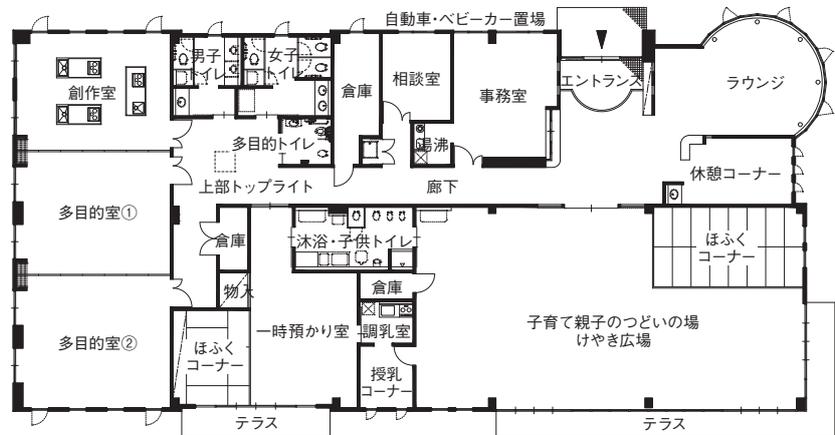
## コンパクトで明解な空間構成

建物はコンパクトで明解な構成とし、子育てゾーン、情報交流ゾーン、多目的ゾーン、管理ゾーンの4つのゾーンで構成する。子育てゾーンは子育て親子が集い、交流を図れるけやき広場と一時預かり室を設けている。けやき広場は大型遊具の導入も対応できるような空間とし、乳児も安心して利用ができるように各部屋にほふくコーナーを設けている。情報交流ゾー

## つくば市子育て総合支援センター

所在地 茨城県つくば市金田字蛭子1979の一部外  
 設計・監理 (株)岡野建築設計事務所  
 施工 クレハ錦建設(株)関東支店  
 建築面積 637.12㎡  
 延床面積 617.60㎡  
 敷地面積 3,238.58㎡  
 構造 鉄骨造 地上1階

平面図



子育て親子のつどいの場「けやき広場」



上：エントランス／下：ラウンジ

ンはラウンジを設けて、地域の子育ての情報を発信したり、利用者の情報交換の場の空間としている。多目的ゾーンは多目的室、創作室から成り、食育等をはじめとする多様な講座、子育て支援者の育成を行ったり生涯学習の空間としている。管理ゾーンは利用者の安全管理をしやすい位置に事務室を設け、子育てに関する相談等を行う相談室は相談者のプライバシーを確保できるようにしている。



外観北東面

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第17回となる今回は、筑西支部の篠崎 眞一氏と、桜川支部の石塚 文彦氏を訪問し話を伺いました。

聞き手=情報・広報委員会 谷島 正憲



## 「現場へ出て経験を積み、見聞を広げることが大切です」

篠崎 眞一 氏 (筑西支部)

昭和11年生まれ/昭和40年ごろ入会/会員歴約47年

**[主な経歴]** 下館一高卒業後、昭和33年筑西市役所建設課建築部へ配属。昭和56年水道部、その後都市計画課を経て建築課へ。勤務しながら建築士資格を取得し、その後各部署にて学校、処理場、浄水場、公園、街路等、数多くの市の公共建築物の建設を担当。現在も、筑西支部のアドバイザーとして活躍する。

——仕事をする上でのポリシーを教えてください。

つねに現場へ出て経験を積むことが大切だと思っています。設計する上でも、電気や設備につ

いても詳しく知ること、オールマイティに建築物を見ることができるようになる。知識や見聞をつねに広げるように努めています。

——今はどのように過ごされていますか？

現在、筑西市で観音寺新本堂建設をしています。その世話役の建設委員を務めています。5月31日には上棟式が行われる予定で心待ちにしています。また、趣味としては、私はドライブが好きなので、月に2回は遠出をしています。白川郷へ行ったり、高山や万座、那須などにも良く行き、いろいろな建物を見たり、自然を楽しんだりしています。



## 「震災に遭った自宅の修復を、実習の場として提供したい」

石塚 文彦 氏 (桜川支部)

昭和19年生まれ/昭和42年ごろ入会/会員歴約45年

**[主な経歴]** 昭和46年、阿波屋ガラス店を父より受け継ぎ社長に。平成5年に株式会社阿波屋に改組、代表取締役就任。その後平成12年4月に代表取締役を長男に譲っている。

——建築士会の活動で印象に残ることは？

この辺りの工務店や設計事務所は横のつながりがとても強く、昭和43年ごろには真壁支部で筑ろく職業訓練校を作ることになり、資金集めに奔走したことがとても印象に残っています。この学校を卒業した多くの方が建築士の資格を取ったり訓練校の講師になるなど、皆さん活躍されています。

——大震災で住居が大きな被害を受けたと聞きます。

私の住まいは、国の重要伝統的建造物群保存地区の中にあり、昭和初期に建てられたものです。今回の大震災では大規模半壊の判定を受けるほど各部損傷しましたので解体も考えたのですが、武村支部長からも修復保存を薦められましたので、保存することにしました。ただ単に修復するというのではなく、修復の現場実習として活用して頂くことで、長らくお世話になってきた建築士会に恩返しができるばよいと考えています。代表の座は降りましたが、これからもまだまだ仕事から離れられないかもしれませんね。



## 第15回会員美術展

平成24年3月7日(水)～3月20日(火)  
 県立図書館1Fギャラリー  
 参観者数 延べ800名

今年度も、たくさんの会員から力作の数々が出品されました。出品者と作品名をご紹介します。

### ▶「会員美術展」展示作品提供者一覧(敬称略)

**[洋画]** 増澤敬(県庁支部)「幼子」(F6)／柳下義男(県央支部)「風景」(F10)／市川三和子(久慈支部)「紅花」(F4)、「枯花」(F4)／依田洋子(賛助会)「色葉 いろいろ」(F10)／渡辺彰吾(県央支部)「白い人」(B3号)  
**[書]** 青山孝夫(土浦支部)「秋風(若山牧水歌集)」／柳下文江(県央支部)「条福」／高槻けい子(県央支部)「まどみちお詩」  
**[写真]** 木村忠夫(県庁支部)「天王立像」(額装)／青木博(古河さしま支部)「古河提灯竿もみまつ」(A3)、「夕日に浮かぶ(偕楽園)」(額装)、「辰のかかしたち」(A3)／浅野利光(県庁支部)「セビリアの雨(スペイン

広場)」(半切)、「聖家族教会を念う(サグラダファミリア)」(額装)／平沼清美(県央支部)「タイサンボク(モクレン科)」、「ホオノキ(モクレン科)」、「コブシ(モクレン科)」、「モッコウバラ(バラ科)」、「オオデマリ(スイカズラ科)」、「スイフヨウ(アオイ科)」、「サンシュユ(ミズキ科)」

**[イラスト]** 金子英三郎(県庁支部)「CG-15」

**[水墨画]** 篠根美雄(県央支部)「萌春」(15号)

**[押し花]** 高橋せつ子(鹿島支部)「溪流」(562×472)

**[陶芸・工芸等]** 五十君智子(土浦支部)「ビーズのアクセサリー A」(コルクボード)、「ビーズのアクセサリー B」(コルクボード)／酒井順子(土浦支部)「灰釉 織部長皿」(150×400)

**[銅板]** 市川三和子(久慈支部)「葡萄」(F6)

建築設計事務所

# K 菊池設計工房

一級建築士  
 一級建築施工管理技士

TSUMORU

主 宰 菊 池 積

〒317-0061 日立市東町2-1-10  
 TEL・FAX 0294(21) 0223



女性部会 20年の歩み

## 「女性部会 20周年記念式典に参加して」

3月25日、水戸市国際交流センターにおいて女性部会20周年記念式典が開催されました。

「女性部会20年の歩み」資料作成担当者の一人として、まとめのために昔のILALネットワークを引っ張り出しましたが、つい読みふけてしまいました。古い号は手書きなのですが、その時々を担当者らしきがいろいろ出ていて、見ていてとても楽しいものです。

まとめたものは式典中にプロジェクター上映をしたのですが、本当なら写真の思い出など皆さんからコメントを貰う時間が取ればよかったかな、とあわてて流してしまったことを今になって反省しております(写真提供の皆さん、パワーポイントにまとめてくださった長さん、ありがとうございました)。

また初代部長・赤木さんの発足当時の苦労話などは知らないことも多く面白く(家族同士でキャンプなど行ったそうです)、歴代女性部長の現役時代の話では当時のことが思い出されて大変感慨深いものがありました。

20年はあっというまに経ってしまった気がしますが…最初のうちはどこかへ見学に行くにしても、ツテをたどっておっかなびっくり頼んでいたものが、今では興味があれば「見せてください!」担当者体当たりで見学

会開催です。確実に変わっている仲間達が頼もしい限りです。

平成24年度からは新しく「女性委員会」としての活動に替わりますが、このパワーが変わるものではないと思います。できるだけ多くの女性会員さんにこの楽しさを味わってほしいと願っております。有意義な一日でした。



柴和伸会長



田所嘉徳本会顧問



初代部長 赤木裕子氏



第7代部長 石黒洋子氏



トータルライフ・コーディネーター 落合 なお子先生 講演

## 女性部会 20周年記念事業「暮らしのセンスアップ」

平成24年3月25日「女性部会20周年記念事業」として、水戸芸術館レストラン「ヴェールブランシェ」において行われた落合なお子先生の講演に参加させていただきました。

落合先生はテーブルコーディネーター、ライフコーディネーターとして幅広く活躍されている方です。

今回の講演はテーブルコーディネートの実演、実習ではなく、食事を楽しみながら、先生のライフスタイル、ご家族との接し方、仕事のお話を通じて、人との向き合い方、物事への取り組み方、そして何よりも食事の大切さや人生の楽しみ方を教えて頂くという内容でした。

中でも印象に残ったお話が二つあります。一つ目は、「朝食の器選び」のお話です。朝は何かと慌ただしく、昼食、晩御飯に比べ単調かつ品数も少なくなりがちです。そんな朝食だからこそ、季節やその日の気分によって器を使い分けるべきというお話です。そうすることでたとえ同じメニューでも違う気分で食事が楽しめ、家族の気分も上がり、毎朝の朝食づくりも単なる家事にはならず楽しくなるということでした。

二つ目は、「食事が不要な家族の分の食器も必ず準備しておこう」というお話です。一緒に食卓を囲め

ない家族の分の茶碗と箸も必ず食卓にセットしておけば、その人の存在感を他の家族に感じさせることができ、その人本人も疎外感を感じず、逆に家族の思いやりや気遣いを感じ、食事を共にすることの大切さが家族全員に伝わるということでした。

これらの講義を通じて、先生の考え方、行動全てが、まずは人を気遣うことをベースに成り立っていること、そして何よりも自らが心底楽しんでいらっしゃるのが良くわかりました。

「建築」に携わる私たちにとっては、「家事」を「仕事（建築）」に置き換えて同じ姿勢で取り組みたいものです。そうすることで人も自分も楽しく幸せにできる「建築」が増えていけば良いと思います。



講師の落合なお子氏



## 平成23年度 全国女性建築士連絡協議会 京都大会 報告

建仁寺門前にて

2月17日、18日の2日間、古都、京都の地に於いて全国女性建築士連絡協議会 京都大会が開催されました。茨城からは11名の参加となりました。

通常は7月開催でしたが、東日本大震災という今までに経験したことのない大震災によって大阪全国大会が中止となり、全建女も一時は開催が危ぶまれましたが、紆余曲折の末2月に延期されての開催となりました。

2月17日、開会式の後、東日本大震災の現状報告及び仮設住宅の現状と課題について、岩手県、宮城県、福島県の東北の被災3県の報告がありました。3県ともいろいろな課題が残るとのことでしたが、地震、津波、さらに目に見えない原発問題を抱えた福島県の報告には、とくに真に迫るものがありました。

その後、京都大学大学院工学研究科教授の高田光雄先生による『京都の景観から考える地域のまちづくり』をテーマにした講演がありました。公共性を実現し、持続させるための地域の役割を見逃さず、地域ごとの「価値の共有」、「まち」の将来像をつくり育てる仕組みづくりが重要で、各地域の建築士は、景観まちづくりの外部の支援主体としての役割がおおいに期待されているとのことでした。

休憩時間もないまま、翌18日のフィールドワークの概要や注意点の説明を受け、1日目を終了し、徒歩にて、交流会会場へと移動しました。

角倉了以によって慶長16年に作られた庭園を持つ、がんこ高瀬川二条苑にて、交流会が開催されました。京都らしい料理を愉しんでいると、舞子さんも登場！京都建築士会のいきな計らいでした。

翌18日は、12のコースに分かれたフィールドワークでした。出発する日も雪でしたが、この日も雪の歓迎を受け雪景色の京都を楽しむ事ができました。私が参加したフィールドワークのE-1コースは祇園町南側地区で、「伝統的な街区の景観とまちづくり」の題が付き、四条通から花見小路に入り、建仁寺を見学し、また花見小路から四条通に戻るコースでした。

都市計画の上林研二氏が、実際のコースも案内してくださいました。祇園南側地区は歴史的景観保全修景地区に指定されており、建物の外観はもちろんのこと、エアコンの室外機や私設消火栓、電力計や自動販売機などにも考慮がなされていました。宅配の業者の方も景観に配慮して、半天姿で、荷車でした。景観に対する配慮に、とても感心させられました。



特定建設業

一級建築士事務所



**熊田建設株式会社**

代表取締役 熊田 昭二

〒316-0001 日立市諏訪町1丁目12番26号

TEL : 0294-33-0360 FAX : 0294-35-0052

未来へつなぐ誠意と技術

特定建設業



株式  
会社

**小國工務店**

代表取締役 小 國 保

専務取締役 小 國 裕 一

本社／北茨城市平潟町1126-74

TEL0293-46-5225 FAX0293-46-6666

特定建設業



SAKOH

# サコー建設株式会社

代表取締役 迫 祥三郎

ISO9001



〒319-1541  
 本社 茨城県北茨城市磯原町磯原1931-7  
 TEL 0293-42-1286 FAX 0293-43-3890

出張所 茨城県水戸市川又町269  
 TEL 029-26-5910 FAX 029-269-5910



社内報、ホームページで  
連載している  
「社長のひとりごと」が  
1冊の本になりました。

Amazon.  
co.jp  
お近くの  
書店で  
好評販売中!!

## 『淳情物語』

(薫風社出版)

小沼 淳志 著

自然体にしてモダン。長く住み継ぐ軒(のき) 深い平屋の家。 **casa basso**



詳細は、お問い合わせはこちらまでお電話に!!

☎0120-343-737

ジュンホーム 検索  
<http://www.junhome.co.jp>

株式会社 ジュン・ホーム  
日立市多賀町2-4-1 TEL 0284-34-3000



# 昭和窯業株式会社

水戸営業所 〒319-0304  
茨城県水戸市有賀町2254-2  
TEL 029-291-5245  
FAX 029-291-5246

兵庫県淡路島の屋根瓦メーカー  
いぶし瓦・陶器瓦製造販売、屋根工事、屋根材販売  
<http://www.showa-rooftile.co.jp/index.html>  
(本社) 〒656-0304 兵庫県南あわじ市松帆古津路647

信頼を築く…… 総合建設業

ISO 9001・ISO 14001 認証登録



株式会社 白土工務店

代表取締役社長 白土 仙一郎

本社／日立市多賀町5丁目8-13  
TEL0294-33-1014 FAX0294-33-1944

豊かさへのかけはし



品質保証の国際規格ISO 9001 認証登録

ISO9001認証登録



JQA-QM5986

総合建設業 **多賀土木株式会社**

代表取締役社長 **松山 昭彦**

本社／日立市東多賀町 2-2-3

TEL 0294(36)0111

FAX 0294(32)0040

高萩営業所・ひたちなか出張所

**利**  
**(株) 丹工務店**

代表取締役 **丹 誠一郎**

北茨城市関南町仁井田109

TEL 0293-46-0307

FAX 0293-46-5276

総合建設業



国土交通大臣許可第905号  
ISO 9001 MSA-QS1782

# 日興建設株式会社

代表取締役社長 菊池 智

本社／高萩市安良川915-4  
☎0293(23)3711(代) FAX0293(22)5259  
支店／千葉・水戸・日立  
出張所／北茨城

豊かで夢のある空間創りをめざして

総合建設業 ISO9001 認証

国土交通大臣許可 第713号



# 日立土木株式会社

代表取締役社長 沢畑 正剛

本社／日立市幸町 2-18-5 ☎0294-22-2121(代)  
支店／水戸  
営業所／いわき・北茨城・東海

# Fujiwa

選択の時代、住まいの個性化に挑む

総合建設業  
一級建築士事務所

# 藤和建設株式会社

代表取締役 三澤俊介  
一級建築士

本社 / 日立市鹿島町3丁目5-2 TEL 0294-21-0067(代)  
工場 / 日立市東大沼町1-1-22

# Rinnai

ハイブリッド給湯・暖房システム

エコジョーズ化宣言  
2013

## ECO ONE が暮らしを変える。

ガスと電気のいいとこどりで、賢く快適な暮らしをかなえる新しい住宅設備です。



省エネ性

一次エネルギー効率

125%<sup>※1</sup>

経済性

給湯年間約

2万円<sup>※3</sup>

コストダウン

環境性

CO<sub>2</sub>最大

50%削減<sup>※2</sup>

設置性

タンクユニットは  
エコキュートと比べて

容積比40%減

面積比25%減<sup>※4</sup>

2012.4  
新発売



ハイブリッド給湯・暖房システム

## ECO ONE

熱源機・タンク一体タイプ (100L仕様) 希望小売価格 803,250円 (税抜 765,000円)

※1 IVb地域の給湯エネルギーの場合。 ※2 従来型ガス給湯器との比較。 ※3 石油給湯機・電気温水器との比較。 ※4 エコキュート460Lタイプとの比較。

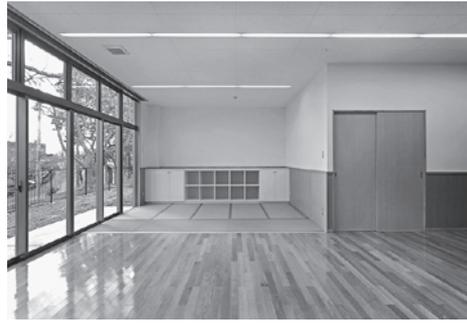
# リンナイ株式会社

東関東支店 / 〒261-0026 千葉市美浜区幕張西 2丁目7-1  
TEL 043(273)3360

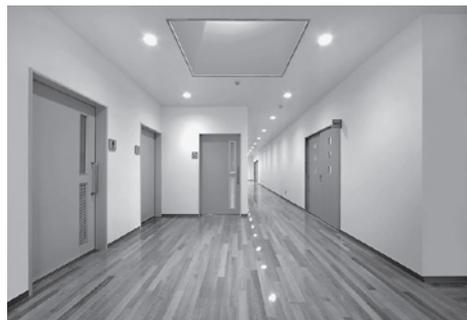
千葉営業所・松戸営業所・水戸営業所・つくば営業所

詳細はWebサイトへ

リンナイエコワン 検索  
<http://www.rinnai.co.jp>



つくば市子育て総合支援センター



建築設計・監理

(株)岡野建築設計事務所 代表取締役 岡野 芳徳

305-0023 茨城県つくば市上ノ室2026-1

TEL 029(857)2285 FAX 029(857)4551

E-mail KGF03504@nifty.ne.jp

# 地盤調査はされましたか？

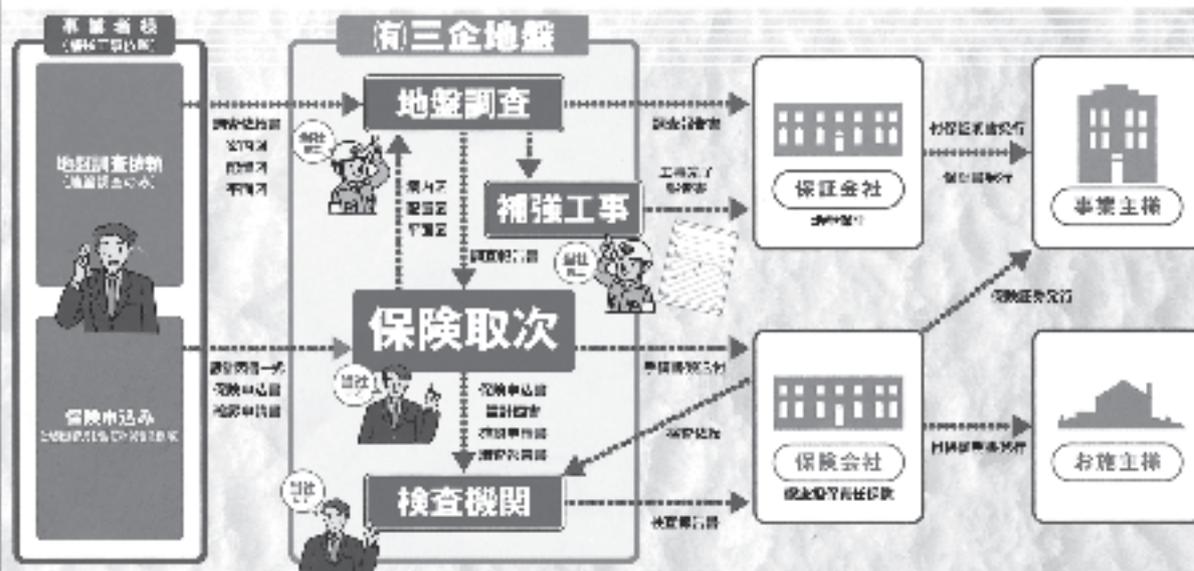
## 地盤大丈夫ですか？

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、地震による地盤沈下や地割れにより多くの建物被害がでました。砂地盤においては、液状化現象により地盤が支持力を失い、基礎としての役割を失い重い建物や構造物が沈下したり傾いたり、また地中にある重量の軽い浄化槽などが浮上するといったこともありました。

当社では、地盤の調査から改良工事、そして保険取次ぎまでをご提案させていただいております。

### 当社におまかせ下さい!!

## 地盤調査・改良・保険取次



- 地盤調査** 当社はJIS-A1221に規定された地盤調査方法(スウェーデン式サウンディング試験)を実施しております。また、地盤保証、地盤サポートシステム等の各会社と連携しております。
- 補強工事** 地盤調査の結果に基づき、各地産補強工事の見積り作成や自社施工機材による補強工事(深層・柱状・砕石)を実施しております。
- 保険取次** 「住宅瑕疵担保責任保険」の保険取次、各種検査を実施しております。JIO(日本住宅保証検査機構)の検査機関及び取次ぎ店です。申請・検査内容等円滑な手続きに対応いたします。

地盤調査・改良・保険に関するお問い合わせは  
サンキジバン

地盤の  
トータルプランナー

# (有)三企地盤

Sanki Jiban Co.,Ltd

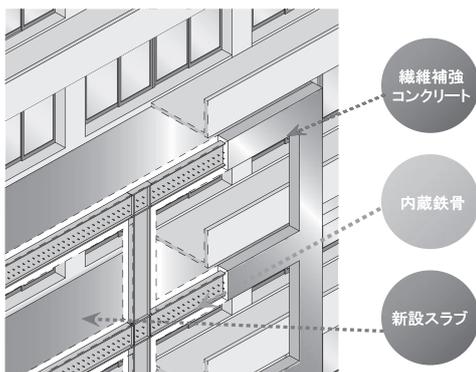
☎029-269-9230 FAX.029-269-9231

## 矢作建設グループには 2500 件以上の 耐震補強実績があります。

住宅



セスレット



- 生活しながら工事が可能
- 外観はそのまま眺望・採光を確保
- バルコニー撤去不要
- 狭小地での施工が可能

## 矢作建設グループの耐震技術は 様々な用途の建物に対応が可能です。

公共施設



ピタコラム

オフィス



制震ピタコラム



矢作建設工業株式会社

本社 / 〒461-0004 名古屋市東区葵 3-19-7

東京支店 / 〒104-0043 東京都中央区湊 2-2-5

TEL: 03-3555-3611 FAX: 03-3555-3610



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

---

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222[代]

FAX.029-231-0960



つくば市子育て総合支援センター（夕景）



社団法人  
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>